

「東日本大震災」対策 news NO.24

2011年4月11日(月)

生協労連震災特設 URL <http://cwu.jp/action-cms/shuto/>

全国生協労働組合連合会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-1-9

TEL 03-3408-0067 <http://cwu.jp/>

FAX03-3408-8955 QYG03057@nifty.ne.jp

大震災から1か月 避難生活は限界、原発事故対策は予断を許さない状況がつづく

被災者支援、被災地復興に全力をあげよう

3月11日の東日本大震災から1か月がたちました。依然として多くの行方不明者を残し、震災と津波の大きな爪痕も消えていません。また、福島原発の事故は地震と津波の被害をさらに深刻なものとし、トータルの避難者は16万人を超えています。

今回の東日本大震災は、地震と津波、さらには原発事故が重なった「複合型」大災害です。したがって、被災地への救援や復興のためのとりくみもそれに見合った対策が必要となっていますが、仮設住宅の建設はいまだに一部にとどまっています。また、依然として電気や水道、ガスなどのライフラインが回復していない地域も多数あります。被災者の健康問題もますます深刻になっています。

こうした状況に追い打ちをかけているのが、東京電力福島原発の事故です。地震や津波への備えの欠如、事故発生時及び発生後の対応、対策のまずさはまさに人災です。東京電力と政府の責任はきわめて重大です。現在、原発事故は熱と放射能への対応となっていますが、まったく予断を許しません。放射能により被害は大量の避難者を生み出しているばかりではなく、農業や漁業だけでなくあらゆる分野に拡大を続けています。機敏で正直な情報提供、支援、被害への補償が求められています。

合わせて雇用問題がいよいよ深刻になっています。就職内定の取消しも連続し、労働組合、ハローワークなどへの雇用、労働相談などが相次いでいます。国と政府が先頭に立って被災者支援と復興へ全力を尽くすことが何よりも重要になっています。

今回の大震災で生協は「全国連帯」「協同の力」で大きな役割を發揮しつづけています。一方では、大きな事業的、経営的な困難を抱えることとなりました。これもまた「助け合い」「支え合い」で突破していく必要があります。被災者支援と被災地復興のために引きつづき全力をあげましょう。



みやぎ生協に寄せられる組合員・被災者からの声から

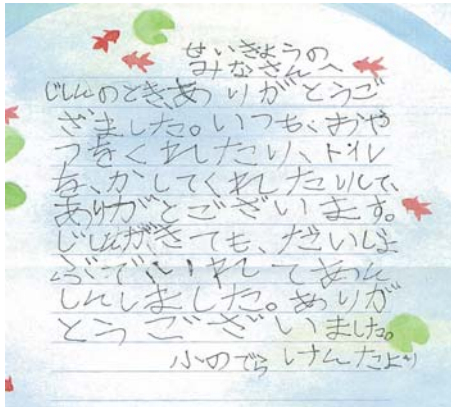
1. ライフラインがまだ戻っていない状態の時から、ずっと店を開け続けてくれて本当にありがとうございます。お互い被災者なのに、店に来るといつもと変わらない笑顔で迎えてくれて、それが支えになりました。震災当日から『生協が開いている』それだけで、自分が1人じゃない、繋がっているんだという気持ちでいられました。

(木町店)

2. 震災2日後のことでした。石巻の医療関係の施設で、孤立してしまったわたし達はどうして良いかわからずにいましたが、「なんとかしなくてはいけない」と1台の車を走らせました。どの店も開いておらず、ラジオで生協明石台店が開いているという情報を聞き、何とかたどり着きました。事情を話すと店長はじめ職員の皆さんが商品を提供してくれました。ここまで来て本当に良かった。と嬉しくなりました。(新寺店)

小学生からのお礼の手紙

震災当日の夜です。八乙女本部近くのマンションにお住まいの方々が、本部ウイズに避難を求めてこられ、約130名の住民が2泊しました。その時泊まった小学1年生が今日、お父さんと一緒にお礼の手紙を持参しました。文面を紹介します。



せいきよのみなさんへ

じしんのときありがとうございました。いつもおやつをくれたり、トイレをかしてくれたりして、ありがとうございます。じしんがきてもだいじょうぶでいれてあんしんしました。ありがとうございました。

おのでらけんたより

(みやぎ生協大震災災害対策ニュースNo.21 より)

生協労連パート部会拡大幹事会でいわて、みやぎのなかまに激励のタペストリーを手渡す

生協労連パート部会は、4月9～10日の2日間にわたって拡大幹事会をコープイン京都で開催しました。32人が参加しました。



木下部会長から阿部幹事へ



柳副部会長から伊藤幹事へ

この幹事会には東日本大震災後交通公共機関が完全復旧されていないなか、被災地からみやぎ生協労組の伊藤幹事といわて生協労組の阿部幹事も参加しました。特別報告として2人が被災地及びなかま、生協の状況などについて報告。地震当時の様子、地震、津波でなかまや家族を失ったこと、一方で生協と労組が被災者、組合員支援のために全力をあげていることを報告し、全国からの支援に心から感謝しつつ、引きつづき支援を呼びかけました。パート部会は一人心の思いを書いたタペストリーを2人に手渡しました。



お互いに激励し合った交流会となりました

これまでの募金総額 3,607,437円

引きつづき、募金へのご協力をお願いします

★今週、かながわ、しずおか、東海地連から各1人、計3人が全労連のボランティアに参加